

2024（令和 6）年度

事業計画書



学校法人関西外国語大学

はじめに

大学を巡る環境は刻一刻と厳しさを増しております。

18歳人口は2034年ごろから急減し、2040年には現在の7割の80万人まで落ち込むと文部科学省は予測しています。私立大学は既に厳しい状況に置かれており、入学者数が定員割れした4年制大学は5割を超えました。一向に歯止めがかかっていません。

関西外国語大学はこのような経営環境の中で2025年に創立80周年を迎えます。難しい状況をいかに乗り越えて次の時代を迎えるかを念頭に、「2024年度事業計画」を策定いたしました。

中央教育審議会の大学分科会が昨年、論点として挙げたのは「学生保護の仕組みの整備」「文理横断・文理融合教育の推進」「出口における質保証の充実・強化」の3点です。学修者本位の大学教育の実現に向けた振興方策を審議するために提示したのですが、これからの大学運営を考えていくうえで示唆に富む、極めて重要な論議を展開しています。

注目したいのは、私立大学の経営破綻が起きることは必定として、破綻時の在籍学生の保護施策、各大学間の連携、具体的な手続きの検討を始めていることです。いつ、どの大学が破綻してもおかしくないとの認識は今や常識です。

また文理横断・文理融合教育をいかに進めていくかも焦点になります。予測不可能な時代にあって、単独・少数の専門分野の知では解決できない問題ばかりです。新たなリテラシーとして、AIやデータサイエンスなどITに関わる教育が必須と議論が進んでいます。従来の枠組みにとらわれては、社会が求める人材を育てることはできません。

健全な大学運営のためには、大学が持つ「強み」と「特色」を十二分に生かした質の高い教育が必要です。関西外国語大学の強みと特色を今一度精査し、着実に教育の質を向上していかなければなりません。

2024年度の事業計画の策定にあたり、学部・学科の再編や教育の質の向上、ガバナンスの強化、国際交流改革の推進などを掲げました。たとえ大学を巡る環境が厳しくても、学生のための教育を貫き、優秀なグローバル人材を社会に送り出すことを一義とし、着実に大学の運営を進めてまいる所存です。

引き続き、皆さまの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年4月

学校法人 関西外国語大学
理事長 谷本 榮子



【目次】

I 学校法人の概要

II 建学の理念と外大ビジョン・6つの柱

III 関西外国語大学ビジョン・中期計画の概要

IV 2024年度事業計画

V 2024年度予算



[I] 学校法人の概要

【 学校法人 関西外国語大学 】

(2024 年 4 月 1 日現在)

○理事長・総長 谷本榮子

【 設置校 】

関西外国語大学	大 学 院	外国語学研究科
	外国語学部	英米語学科
		スペイン語学科
		英語・デジタルコミュニケーション学科
		国際日本学科
	英語国際学部	英語国際学科
	英語キャリア学部	英語キャリア学科
		英語キャリア学科小学校教員コース
	国際共生学部	国際共生学科
	関西外国語大学短期大学部	英米語学科
○大学学長	未来キャリア英語学科	
	大庭 幸男	
	○短期大学部学長	
○短期大学部学長	谷本 和子	

【 沿 革 】

1945(昭 20)年	谷本英学院創設
1947(昭 22)年	関西外国語学校設置
1953(昭 28)年	関西外国語短期大学設置 設置者 学校法人万代学園(大阪府大阪市住吉区万代 3 丁目 6 の 34)
1960(昭 35)年	短期大学米英語科第二部設置
1963(昭 38)年	学校法人関西外国語学園に法人名称変更
1966(昭 41)年	関西外国語大学外国語学部設置 法人本部位置変更(大阪府枚方市小倉 333)
1972(昭 47)年	国際文化研究所設置
1973(昭 48)年	関西外国語大学大学院外国語学研究科(修士課程)設置
1975(昭 50)年	短期大学第二米英語学科第一部設置
1976(昭 51)年	留学生別科設置 関西外国語大学大学院外国語学研究科(修士課程)言語文化専攻増設
1977(昭 52)年	関西外大ハワイ校を開設
1979(昭 54)年	関西外国語大学大学院外国語学研究科(博士課程後期)設置
1980(昭 55)年	関西外大ハワイカレッジ開校
1984(昭 59)年	短期大学第二米英語学科の位置変更、穂谷学舎開く
1986(昭 61)年	関西外大ニューイアラ整備計画発足
1992(平 4)年	学校法人関西外国語大学に法人名称変更 関西外国語短期大学を関西外国語大学短期大学部に名称変更

	短期大学部学科名称変更 米英語学科を英米語学科へ 第二米英語学科第一部を米英語学科第一部へ 第二米英語学科第二部を米英語学科第二部へ
1994(平 6)年	人権教育思想研究所設置
1996(平 8)年	国際言語学部国際言語コミュニケーション学科設置
1998(平 10)年	関西外大ハワイカレッジをトランスパシフィック・ハワイカレッジに名称変更
1999(平 11)年	短期大学部英米語学科昼夜開講制導入 米英語学科第二部を募集停止
2000(平 12)年	短期大学部米英語学科を国際コミュニケーション学科に名称変更
2002(平 14)年	中宮学舎開く。法人事務所所在地、大学、短期大学部、大学院の位置変更 (大阪府枚方市中宮東之町 16 番 1 号)
2003(平 15)年	教職英語教育センター設置
2005(平 17)年	短期大学部英米語学科夜間主コースの学生募集停止
2006(平 18)年	中国交流センター設置 (2010 年に廃止)
2007(平 19)年	谷本貞人学長が退任し、谷本義高大学学長・谷本榮子短期大学部学長が就任
2008(平 20)年	短期大学部国際コミュニケーション学科を募集停止 谷本貞人理事長が退任し、谷本榮子理事長が就任 トランスパシフィック・ハワイカレッジ閉校
2009(平 21)年	中長期ビジョン「関西外大ルネサンス 2009」を策定 関西外国語大学孔子学院設立
2010(平 22)年	短期大学部国際コミュニケーション学科廃止 アジア・太平洋交流センターを設置 (中国交流センターを廃止・統合) イペロアメリカ研究センターを設置
2011(平 23)年	英語キャリア学部英語キャリア学科設置
2013(平 25)年	英語キャリア学部英語キャリア学科に「小学校教員コース」設置 穂谷キャンパスを「学研都市キャンパス」に名称変更 アジア・太平洋交流センターを廃止 (国際交流部に業務移管)
2014(平 26)年	英語国際学部を設置 (国際言語学部の改組転換) 国際言語学部の学生募集停止
2015(平 27)年	70 周年記念事業の一環として御殿山キャンパス・グローバルタウン用地取得
2018(平 30)年	御殿山キャンパス・グローバルタウン竣工 英語国際学部移転 御殿山キャンパス・グローバルタウン開学
2019(平 31)年	国際言語学部廃止
2020(令 2)年	大庭幸男大学学長が就任
2021(令 3)年	谷本榮子理事長が総長に就任 谷本和子短期大学部学長が就任
2023(令 5)年	国際共生学部国際共生学科、外国語学部に英語・デジタルコミュニケーション 学科を設置 アジアセンター設置
2024(令 6)年	外国語学部に国際日本学科、短期大学部に未来キャリア英語学科設置

〔Ⅱ〕 建学の理念と外大ビジョン・6つの柱

建学の理念の実現をめざし、全学を対象とした「外大ルネサンス」の中で、「外大ビジョン」とその行動規範としての「関西外大人行動憲章」を策定、これを引き継ぐ形で、「関西外国語大学ビジョン・中期計画」を策定。

■建学の理念

『 国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成 』

『 公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応えていく実学 』

■外大ビジョン・6つの柱

1. 国際通用力を保証する言語教育の実践拠点
2. 高度な専門職業人育成へのアプローチ
3. 国際人にふさわしい人間力の涵養と全人教育の推進
4. 「キャンパスは“ちきゅう”」～ 学びのフィールドを広げ、深める
5. 地域はパートナー ～ 「グローカリズム」の実践
6. 大学力の強化と充実 ～ 力強い未来のために

■関西外大人行動憲章

学の研鑽	わたしたちは、専門の語学、言語はもとより、多様な学問分野において常に研鑽を積み、知識基盤社会の構築、発展に寄与します。
国際人としての自覚	わたしたちは、地球社会の一員であることを常に自覚し、異なる文化の尊重と共存、相互理解を推進します。
国際貢献	わたしたちは、国際社会の平和と安全、繁栄と共生に向け、地球規模の課題克服に取り組みます。
人間力の涵養	わたしたちは、個としての健全なる自我の確立とともに、社会的存在として全人的な資質の向上を図ります。
地域参画	わたしたちは、自らの知識や能力、ならびに大学の教育資源を生かし、拠って立つ地域の文化的、教育的発展に貢献します。

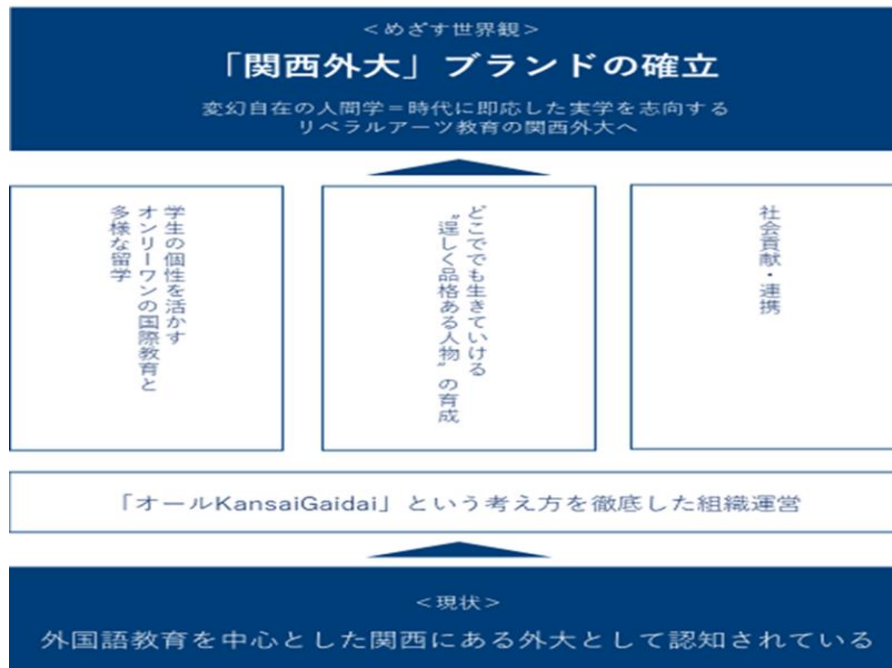
[Ⅲ] 関西外国語大学ビジョン・中期計画の概要

■ ビ ジ ョ ン

1. KansaiGaidai University への進化
2. どこでも生きていける“遅しく品格ある人物”の育成
3. 学生の個性を活かすオンリーワンの国際教育と多様な留学
4. 「オール KansaiGaidai」という考え方を徹底した組織運営
5. 社会貢献・連携

■ 基 本 戦 略

1. 新たな「KansaiGaidai University」の追求・共有・浸透からブランディングへ
2. 「変幻自在の人間学」＝「時代に即応した『実学』」プログラムの再構築
3. 入試面、教学面、就職面を全学一体で躍進させる
4. 留学プログラム体系をニーズにあわせて進化させる
5. 学生からの満足度が高い支援を推進する態勢
6. ICT、AI の活用により教育研究環境の整備、事務部門業務の効率化を推進する
7. 時代の変化に応じて、新たな学部・学科等設置に取り組む
8. 広く社会に貢献する



[IV] 2024 年度事業計画

「外大ルネサンス」、2019 年 9 月策定した「関西外国語大学 ビジョン・中期計画」および「理事長年頭所感」を踏まえ、2024 年度事業計画を次の通りとする。

1. 学部・学科の再編

■2024 年 4 月開設の新学科の円滑な運営の確立

- 外国語学部 国際日本学科
- 短期大学部 未来キャリア英語学科

■2025 年 4 月開設予定の新学科設置準備

- 英語国際学部 アジア共創学科

🗨️ アジア地域から留学生を受け入れ、本学国内学生とアジアからの留学生との共修・交流を通して、多様性の中から新たな価値を創造できるキャンパスを構築するとともに、アジアの共生と協働を起点として世界の持続的発展に貢献できる次世代の人材育成をめざして、英語国際学部新たに「アジア共創学科」の設置申請を行う。

(定員)

入学定員	編入学定員	収容定員
	3 年次	
200 人	20 人	840 人

- ・編入学については学年進行により順次受入れ
- ・英語国際学科入学定員△200 人、3 年次編入△20 人
(大学全体の収容定員は増減なし)



2. 教育の質の向上

■学修者本位の教育の質向上

- ・外国語学部英米語学科を中心に、細分化された学科の教育の質向上・充実
- ・実践科目の開設や指導体制の強化などを目的とした教育課程の見直し
- ・学生が「何を学び、何を身につけることができたのか」という学修成果の可視化・明確化と、実質的な定着に向けた取組み

■大学院の活性化

- ・教育内容の改善と、時代に対応できる態勢の構築
- ・中国を中心とした、博士前期課程のダブルディグリー留学生の受入れ
- ・5年間で学士号と修士号を取得できるプログラム実施

■質の高い教員の確保・育成

- ・新学科開設および設置計画に伴う教員組織の編成、教育研究体制の充実等の取組
- ・国際化に対応した組織づくりと教育研究環境の向上
- ・質の高い国語教員養成を目的とした、国語（中高一種免許）教職課程の開設

■DXによる教育の質的転換

- ・DXによる効果的で質の高い学修の実現

3. 強固な組織構築によるガバナンス強化

■管理体制の整備によるガバナンスの強化

- ・教職員一丸となった管理・運営体制の整備と組織力強化によるガバナンスの強化
- ・私立学校法改正に伴う寄附行為変更と各種規程の整備

■健全かつ強固な財務体質の構築

- ・無駄の排除（前例踏襲からの脱却）と費用対効果検証による、有効な予算策定・執行
- ・将来を見据えた「投資」への意識改革に基づく「強固な財務体質」の構築

4. 国際交流改革の推進

■国際交流プログラムのさらなる進化

- ・社会と学生のニーズに即した、特徴的な留学プログラムの構築・運営
- ・キャリアを見据えた実践型留学の拡充と出口戦略の遂行（キャリアセンターとの協働）
- ・産学共同プログラムの海外での展開

■国際教育関連事業に係る費用の効果的使用と外的資金の獲得

- ・費用対効果を見定めた留学プログラム実現のための選考・資格審査の見直し
- ・外部資金の獲得を通じたさらなる学生支援と大学価値の向上

5. 学生生活支援体制の整備

■学生ファーストの視点に立った修学支援の実行

- ・外大生応援プロジェクト推進（「Happy Monday LUNCH」、「食糧支援」等）
- ・学生相談体制の充実ときめ細かな対応（こころのケア）

■特技入試制度およびクラブ活動支援策等の見直し

- ・特技入試制度の改正による才能に秀でた意欲ある学生の受入れ促進
- ・「スポーツ活動振興奨学金」による課外活動の活性化

■障害者差別解消法等への適切な対応

- ・ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン推進委員会による障害を理由とする差別の解消や防止に向けた取組み等

6. 就職支援強化による出口保障

■実就職率の向上および安定した支援スキームの確立

- ・低学年からのキャリア形成支援の拡充と各種就職支援策の質向上
- ・大学や学部学科の特色を活かした出口ブランドの確立
- ・データ活用による未内定層の早期発掘と個別支援の拡充

■社会が求める人材育成のためのキャリア教育の推進支援の推進

- ・企業が求める知識やスキルを持った人材（デジタル人材・課題発見力等）のマッチング向上に向けたキャリア・就職支援の開発
- ・AI・データサイエンス等の知識を活用できる人材育成のためのキャリアプログラム開発(教務部門との協働)

■質の高いインターンシップを核としたキャリア形成支援

- ・新学科の特性に応じたインターンシップ先の開発
- ・留学生に対するグローバルインターンシップの充実と就職支援

7. 多様化する入試への対応

■入試制度改革の推進

- ・多様で優秀な学生確保のための入試制度改革の推進
- ・入試日程の追加・変更、オープンキャンパス日程の見直し
- ・公開講座を活用した効果的な入試広報戦略の展開

■高大連携の強化

- ・教員を中心とした質の高い高校訪問実施による、学習意欲の高い学生へのアプローチ
- ・双方向の連携を構築し、受験生の進路指導における進学をサポート

8. 戦略的広報の展開

■大学の魅力を伝える広報の企画・立案・実施

- ・オンライン活用等による時代に即した広報戦略（高校生向け「FIND」等、各種媒体を活用した大学広報・入試広報の展開）
- ・「公式ウェブサイト」の大規模リニューアル着手（2025 年秋完成予定）

■新学科開設プロモーション施策

- ・教職協働による新学科開設プロモーション展開（学生募集に直結する施策）

9. 情報システムの大規模改修と DX の推進による業務改革

■基幹システムの再構築

- ・拡張性、汎用性の高いシステムの再構築
- ・現行システム継続利用を前提とした運用改善とコストダウン
- ・WG 主導による学内体制の見直し（業務知識／システム知識を有した統括体制構築）

■DX の推進による業務改革

- ・AI の利活用による学生の利便性向上と業務の効率化
- ・業務、資料のデジタル化、ペーパーレスの一層の推進

10. 校地・校舎の整備

■学研都市キャンパスの活用

- ・国際教育機関と協力し、グローバル人材育成を目的とした共同プログラム開発・推進

11. 自己点検・評価

■認証評価受審後の改善に向けた全学的な取組

- ・2019 年度認証評価結果における指摘（改善課題）への取組
- ・2026 年度認証評価への準備・対応

12. 社会貢献・連携

■地域自治体・地域コミュニティとの連携

- ・産・学・官連携による地域自治体をはじめとした多様なコミュニティとの連携強化
- ・国際教育機関と協力したキャンパス活用による国際都市推進と地域貢献
- ・関連会社（株式会社関西外大 I C C）による地域の子供たちを対象にした貢献活動

【参考】関西外大ルネサンス 2009 整備事業（施設）

期別	実施内容
第1期	・穂谷第2国際交流セミナーハウス 建築 ・着工 2010年9月 ・竣工 2011年8月 (地上5階、RC造 5,458.17 m²)
第2期	・インターナショナル・コミュニケーション・センター（ICC）建築 ・着工 2011年7月 ・竣工 2012年7月 (地上4階地下1階、SRC造 9,233.17 m²)
第3期	・中宮キャンパス新教室棟 7号館 建築 ・着工 2012年7月 ・竣工 2013年8月 (地上4階地下1階、RC造 11,026.35 m²)
第4期	・ICC隣接地駐車場・ブリッジ 建築 ・着工 2012年8月 ・竣工 2012年12月 (S造 L:54.4m W:3.8m 他)
第5期	・エアライン、ホテル演習室 整備 ・着工 2012年8月 ・竣工 2012年9月 (206.77 m² 改造)
第6期	・中宮 図書館学術情報センター3階 改造 ・着工 2013年1月 ・竣工 2013年3月 (638.2 m² 他)
第7期	・中宮 西門 拡張・整備 ・着工 2014年2月 ・竣工 2014年3月 (W:16.60m 他)
第8期	・中宮 バイク専用駐車場 太陽光発電システム 整備 ・着工 2015年2月 ・竣工 2015年3月 (レネソーラ製 48kW 太陽電池多結晶モジュール 250W×192枚)
第9期	・中宮ラーニングコモンズ整備 ・着工 2016年1月 ・竣工 2016年3月 (中宮図書館2階および3階 学びのアクセス広場 延床面積:1,060 m²)

期別	実施内容
第10期	・ 御殿山キャンパス・グローバルタウン新築 ・ 着工 2016 年 5 月 ・ 竣工 2017 年 12 月 (地上 6 階建他 RC、SRC、S 造 延床面積：57,352 m ²)
第11期	・ 中宮陸上競技場新設 ・ 着工 2018 年 6 月 ・ 竣工 2018 年 12 月 (敷地面積：10,137 m ² 、333mウッドチップトラック ロングパイル フィールド等)
第12期	・ 中宮西ブリッジ新設 ・ 着工 2018 年 8 月 ・ 竣工 2019 年 1 月 (S、RC 造 L：70.9m W：3.3m 他)
第13期	・ 陸上競技場クラブハウス等新築 ・ 着工 2019 年 11 月 ・ 竣工 2020 年 5 月 (陸上競技場クラブハウスおよび外構、緑地工事等)
第14期	・ 大規模改修工事 ・ 着工 2020 年 9 月 ・ 竣工 2021 年 3 月 (中宮キャンパス 3 号館、4 号館、5 号館、外構工事、片鉾総合体育館)
第15期	・ 中宮キャンパス第1・第2グラウンド（谷本グリーンフィールド）整備 ・ 着工 2023 年 1 月 ・ 竣工 2023 年 7 月 (第1グラウンド：12,454.10 m ² ・第2グラウンド：9,497.00 m ²)
第16期 (計画)	・ 学研都市キャンパス整備 ・ 着工 2023 年 6 月 ・ 竣工 2026 年 9 月 (予定) (既存キャンパスの整備・拡充、科学研究室、プール等、新規施設の建築)



[V] 2024 年度予算

2024 年度 事業活動収支予算書

(単位：百万円)

大項目	科目	2023 年度予算	2024 年度予算
教育活動収支	学生生徒等納付金	14,250	14,088
	手数料	370	321
	寄付金	34	26
	經常費等補助金	1,550	1,661
	付随事業収入	1	0
	雑収入	290	350
	教 育 活 動 収 入 計	16,495	16,446
	人件費	4,578	4,583
	教育研究経費	6,179	5,947
	管理経費	2,361	2,384
	教 育 活 動 支 出 計	13,118	12,914
	教 育 活 動 収 支 差 額	3,377	3,532
教育活動外収支	教育活動外収入計	750	900
	教育活動外支出計	0	0
	教 育 活 動 外 収 支 差 額	750	900
經 常 収 支 差 額		4,127	4,432
特別収支	特別収入計	30	45
	特別支出計	30	40
	特 別 収 支 差 額	0	5
(予備費)		300	300
基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額		4,127	4,437
	基本金組入額合計	▲ 5,500	▲ 7,405
	当年度収支差額	▲ 1,373	▲ 2,968
	前年度繰越収支差額	210	▲ 2,601
	基本金取崩額	0	0
	翌年度繰越収支差額	▲ 1,163	▲ 5,569

(参考)

事 業 活 動 収 入 計	17,275	17,391
事 業 活 動 支 出 計	13,148	13,254